

水俣・熊本みらい基金様

日頃より、当団体へのご支援ありがとうございます。

発災よりもうすぐ1年になりますが、街のあちこちで解体は終わっているものの、復旧には程遠く、終わりの見えない状況に不安と焦りばかりの毎日です。

頂きました寄付金は、要望のあった物資の購入、拠点の整備費、光熱費、食事支援の材料費、イベント等の諸経費に使わせて頂きました。

現在の活動としては、拠点としている『西瀬災害支援ステーション』で毎週金曜に『おしゃべりカフェ』での小さな炊き出し、仮設商店街「コンテナマルシェ」と一緒に子ども向けのイベント、子ども食堂の食材ハブとしての第2拠点の整備等をおこなっています。また、西瀬災害支援ステーションが11月には公費解体が決定してるので、解体後に同じ場所で活動できるように、コンテナをどうにか用意できないかと模索中です。

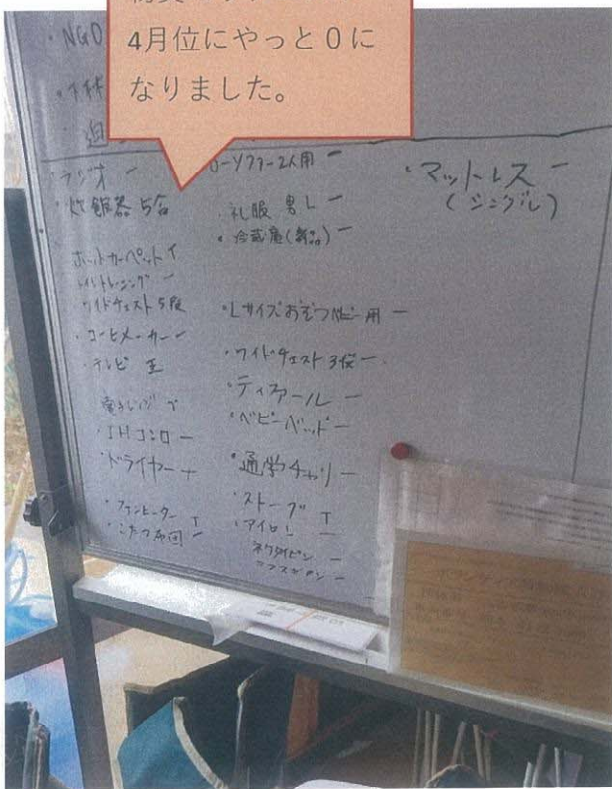
メンバー全員が、仕事に子育てにと、なかなか時間を作るのが難しいですが、息の長い活動を続けていきたいと思えます。

今後とも、よろしくお願い致します

人吉コミュニティー事務局にじのおと

代表 松田 亜希子

物資のリクエスト
4月位にやっと0に
なりました。



子ども食堂ネットワーク
から子ども達支援で沢山

急ぎの物やSNSで呼びかけても集
まらなかった物は子購入させて
いただきました。



社協、他団体のお昼ご飯の提
供。現場が違って情報共有
できました。



IPS熊本より、『おもしろカー』を2
か月お預かりし、イベント開催、他
団体への貸し出しを行いました。



他団体に来た、大量の支
援物資の搬入。マンパ
ワーが必要な時は、男性
陣、ご主人達にも手伝っ



なるべく、季節を感じ
られる物を。



依頼があれば、仮設に衣類
を持って出張しました。



被災された方も、ボランティアに入
られた方も一緒にお昼ご飯を食べて、
色々な話をされました。





多い時には、50食分を用意しました。被災された方は持ち帰ってもらったり。



ステーションで2週にわたり、餅つきました。



土地の利用はできますが、建物の用途がたっています。



仕事も子育ても子育て支援活動も楽しみながら、地域の再生に向けて頑張っています。